

平成 26 年度（2014 年度） 神戸大学大学院国際文化学研究科博士課程（前期課程）
異文化コミュニケーション系領域 試験問題（基礎科目：外国語（英語））

（注 1） 問題用紙 3 枚、解答用紙 2 枚、下書き用紙 2 枚。

（注 2） 問 1，問 2，問 3 の解答は、それぞれ、解答用紙の指定された場所に記入すること。なお、解答は日本語で作成すること。

問題 次の文章を読み、問 1～問 3 に答えなさい。

（問題文省略）

問 1 下線部 の「ギャップ」とは何を意味するのか、本文に即して 100 字程度で説明しなさい。

問 2

【1】本文に即して、(A)広義の文化、(B)狭義の文化、の意味について、それぞれ 15 字以内で説明しなさい。

【2】下線部 「広義の文化を守るためには、狭義の文化は犠牲になっても止むを得ない」とはどういう意味か。100 字程度で説明しなさい。

問 3 本文の議論を踏まえて、平和の維持のためには文化と権力がどのような関係にあることが求められるのか、700 字以内で論じなさい。

（出典 入江昭『二十世紀の戦争と平和【増補版】』東京大学出版会、2000 年、6-10 ページ。なお、出題に際して表記を改めた箇所がある。）